



2020年8月11日

各 位

会 社 名 株式会社 荏原製作所
代表者名 代表執行役社長 浅見 正男
(コード番号 6361 東証第1部)
問合せ先 執行役 経理財務統括部長 長峰 明彦
(電話 03-3743-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日付決算短信等(※)にて未定としておりました2020年12月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	506,000	30,000	27,000	17,000	178.54
増減額 (B)－(A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	522,424	35,298	35,571	23,349	241.79

(※) 2020年5月13日付 2020年12月期第1四半期決算短信、決算説明会資料、業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想修正の理由

新型コロナウイルス感染症の拡大は世界的に継続し、現時点でもなお大きな脅威として存在し、予断を許さない状況が続いています。一方で、“with コロナ”と呼ばれる感染予防と経済活動の共存に向けた動きは活発化しており、社会・産業インフラの需要は一時期に比べて改善しています。当社においても従業員を始めとする関係者の健康・安全を最優先としつつ、インフラを支える企業として社会への貢献に尽力しています。

2020年12月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であったことから2020年5月13日に取り下げ、未定としておりましたが、この度、各国における人的移動に係る制約の緩和等を受け、現時点で入手可能な情報及び上半期の実績等に基づき通期連結業績予想を改めて公表いたします。

<参考 セグメントごとの通期業績見通し>

		風水力事業	環境プラント事業	精密・電子事業	その他	全体
受注高	前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —
	今回修正予想 (B)	292,000	73,000	140,000	1,000	506,000
	増減額 (B)－(A)	—	—	—	—	—
	増減率 (%)	—	—	—	—	—
売上高	前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —
	今回修正予想 (B)	300,000	65,000	140,000	1,000	506,000
	増減額 (B)－(A)	—	—	—	—	—
	増減率 (%)	—	—	—	—	—
セグメント利益	前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —
	今回修正予想 (B)	14,000	6,000	10,500	△500	30,000
	増減額 (B)－(A)	—	—	—	—	—
	増減率 (%)	—	—	—	—	—

風水力事業では、上半期は新型コロナウイルス感染症の拡大による活動制限により支出が減少する一方で、前期末の受注残に支えられ堅調に推移しましたが、4～6月の建築設備市場等における受注減少が7月以降の業績に影響する見込みです。

環境プラント事業は堅調に推移しており、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業運営及び業績への特段の影響は見られません。

精密・電子事業では、上半期は人的移動の制限等により売上高・営業利益に影響が出ましたが、旺盛な半導体需要に支えられ、受注状況は堅調に推移していますので、下半期の業績の回復が見込まれます。

なお、2020年12月期の期末配当については、2020年5月13日に公表の1株あたり30円(年間配当金60円)の予想から変更はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来業績に影響を与える不確実な要因に係る一定の前提に基づいています。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上